

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
技術戦略経営 Strategic Management of Technology		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
ビジネス実務総論Ⅰ・Ⅱ、経済学				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ビジネスイノベーション論、地域社会起業家論				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
長江 庸泰		本館2F (研究室4)	月～木曜 9:00～16:00 (授業・会議時間を除く)	授業中に指示します
授業の概要				
技術経営戦略とは、技術力の費用対効果を最大化し事業を持続的に発展させるために、次世代の技術を創出し、戦略的イノベーションの推進を行い、研究・開発の効率化を図る企業マネジメントの体系である。本講義では「技術感覚」と「戦略思考」を身につけ、自分の頭で考え「問題発見・解決」に秀でた人材を育成する。				
授業の到達目標				
①「競争・市場環境と技術経営戦略」を理解することができるようにする。 ②「技術戦略と研究開発マネジメント」を理解することができるようにする。 ③「研究開発マネジメント」を理解することができるようにする。 ④「知的財産権マネジメントとアライアンスマネジメント」を理解することができるようにする。 ⑤「生産マネジメント」を理解することができるようにする。				
授業の方法				
本授業は、講義、マルチメディア授業、デジタルテキスト、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク等を活用しながら、技術戦略経営に精通した人材育成を目指すものである。				
学習の成果				
①「競争・市場環境と技術経営戦略」を理解し、第三者に説明することができる。 ②「技術戦略と研究開発マネジメント」を理解し、第三者に説明することができる。 ③「研究開発マネジメント」を理解し、第三者に説明することができる。 ④「知的財産権マネジメントとアライアンスマネジメント」を理解し、第三者に説明することができる。 ⑤「生産マネジメント」を理解し、第三者に説明することができる。 ⑥1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、自立した学習法が身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（シラバスの解説・授業の狙いと進め方・成績評価等）			
第2回目	競争・市場環境と技術経営戦略①（競争優位の基本戦略、技術と競争優位、価値連鎖と技術戦略）			
第3回目	競争・市場環境と技術経営戦略②（技術革新と市場ニーズ、コトラーの新製品開発、製品開発プロセス）			
第4回目	技術戦略①（技術戦略策定プロセス、技術戦略策定プロセスの各機能）			
第5回目	技術戦略②（技術戦略と参入障壁、技術ポートフォリオ、イノベーション）			
第6回目	研究開発マネジメント①（研究開発プロセス）			

第7回目	研究開発マネジメント②（研究開発予算管理）
第8回目	製品開発マネジメント①（製品開発プロセス、製品開発プロセスの効率化）
第9回目	製品開発マネジメント②（製品開発組織、プロジェクトマネジメント）
第10回目	知的財産権マネジメント（知的財産管理の必要性、知的財産権の利用・評価、知的財産権戦略）
第11回目	アライアンスマネジメント①（アライアンスの必要性、アライアンスの種類・形態）
第12回目	アライアンスマネジメント②（企業間ネットワーク、アライアンスマネジメント）
第13回目	生産マネジメント①（生産管理、工程管理、I E）
第14回目	生産マネジメント②（品質管理、資材購買管理）
第15回目	まとめと定期試験
成績評価の方法と基準	
評価の領域	割合 評価の基準
授業参加態度	10% 以下の3点から評価する：①ノートを取り、創意工夫してまとめ上げられている、②自分の意見を論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。
レポート	30% 以下の3点から評価する：①創意工夫してまとめ上げられている、②自分の意見を論理的に述べている、③課題の本質を理解し、まとめられている。レポート最新課題は、月1回計4回提出予定(締切は各月末)。
調査報告書	
小テスト	
中間・学期末試験	40% グループワークによるプレゼンテーション力を試験し、以下の3点から評価する：①内容が創意工夫されてまとめ上げられている、②グループの意見が論理的に述べられている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。
発表内容（態度含む）	20% レポート発表は、以下の3点から評価する：①創意工夫した発表となっている、②自分の意見をまとめながら論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。
その他	上記評価基準に基づき成績評価：S（傑出した内容）＝90－100、A（平均を上回る内容）＝80－89、B（平均的内容）＝70－79、C（平均を下回る内容）＝60－69、D（左記以外の内容）＝0－59
教科書と参考図書	
長江庸泰作成の“デジタルテキスト[技術戦略経営 2013年度版]”を活用する。	
履修上の心得・ルール	
本学の教育理念(想う人、考える人、行う人を創る)を体現する、「1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、自立した学習法」を常に心掛けましょう。	